

三菱地所株式会社
 三菱地所プロパティマネジメント株式会社
 株式会社横浜スカイビル
 三菱地所リテールマネジメント株式会社
 株式会社横浜ロイヤルパークホテル

4施設が2018年に揃ってアニバーサリーイヤー！

横浜・三菱地所周年記念作品

ショートフィルム『4つのお祝い』を6/21よりWEB公開

監督・脚本は映画『南極料理人』『モリのいる場所』の沖田修一
 105本ものロウソクの灯りの中で語り合う、一見家族のような4人の正体は？
 擬人化された4つの施設が見てきた横浜の思い出を振り返る感動のストーリー

WEB動画URL: <https://youtu.be/Z6Enb5K5Lmg>

三菱地所グループが横浜エリアで所有する商業施設及びホテルである、スカイビル、ランドマークプラザ、横浜ロイヤルパークホテル、MARK IS みなとみらいの4施設が2018年に揃って周年を迎えたことを記念し、周年記念作品であるショートフィルム「4つのお祝い」を2018年6月21日(木)にYouTube三菱地所公式チャンネルにて公開いたしました。2018年に、スカイビル(1968年3月に初代開業、1996年9月に2代目開業)は50周年、ランドマークプラザ(1993年7月開業)、横浜ロイヤルパークホテル(1993年9月開業)は25周年、MARK IS みなとみらい(2013年6月開業)は5周年を迎えました。本ショートフィルムの公開と同時に、本ショートフィルムの予告編風TVCMをOA致します。また、各施設でも周年を記念したイベントやプロモーションを実施してまいります。

本ショートフィルムの監督・脚本は、映画『南極料理人』『横道世之介』などの代表作を持ち、今年5月に新作『モリのいる場所』が公開となった沖田修一監督。一見、普通の家族に見えてよく聞くと不思議な4人の会話。ストーリーが進むにつれ、実はこの4人が、横浜にある三菱地所の4つの施設を擬人化した役どころであることがわかるようになっていきます。合計105本ものロウソクが灯るステキな世界観の中で、それぞれの施設の目線でこれまでの横浜の思い出を振り返る、少し不思議で、心温まる作品に仕上がっています。

50周年のスカイビル役には、スカイビルと同じ年の古舘寛治さん、25周年のランドマークプラザ役には、183cmと長身の中島歩さん、25周年の横浜ロイヤルパークホテル役は、可憐な桜井ユキさん、5周年のMARK IS みなとみらい役は、元気いっぱいの中村研人くんという個性あふれる4人を起用。沖田修一監督と古舘寛治さんが、実に6年ぶりにタッグを組んだのも、今回の作品の見どころです。



■ショートフィルム『4つのお祝い』詳細

<タイトル> 『4つのお祝い』 | 横浜・三菱地所周年記念ショートフィルム

<動画URL> <https://youtu.be/Z6Enb5K5Lmg>

<あらすじ>

とある家で過ごす一見家族のような4人。誕生日会のような飾り付けの中、それぞれがケーキに大量のろうそくを刺していく。どうやらお祝いの準備をしているらしい。そんな中、50歳の男が5歳の少年に「私は、一度生まれ変わっているんだ。」と謎の言葉を切り出した。お祝いの支度が整い4人がテーブルに集まる。部屋の電気を消すと、大量のろうそくの光に照らされた素敵な空間が広がった。105本ものろうそくの灯りに気分も盛り上がり、会話がはずむ。しかし4人の会話がどうもおかしい。25歳の男は「生まれる前から名前が決まっていた」り、25歳の女は「電話が鳴りやまないほど人気であった」り、5歳の少年は「生まれた日に大行列ができた」り…。この4人はいったい何者なのか？ストーリーが進むにつれ、その正体とお祝いの意味が明らかになっていく。



■撮影エピソード

◇リアリティを追求するために実際の民家でロケを実施！

今回の作品は、映像のリアリティを追求するために、スタジオではなく神奈川県にある実際の民家で撮影が行われました。また、作中に登場するテントやテーブル周りの小物の多くは、お借りしたご家庭で普段使われているものを使用しており、スタジオ撮影では出せないリアリティが表現されています。

◇周年の数を合計した「105本」ものろうそくにスタッフ総出で対応！

今回は4つの施設の周年の数(50周年+25周年+25周年+5周年)を合計した「105本」ものろうそくに、実際に火を灯して撮影を敢行。そのため、カメラの露出やアングルの調整などにも時間を要し、カットを撮り終えるごとにスタッフ総出で火を吹き消して換気したり、その都度、別のケーキとろうそくに差し替えながらの撮影となり、非常に難しい撮影となりました。そんな難しい撮影にも出演者の皆様は粘り強く耐えてくれました。

◇スカイビル役の古舘寛治さんのキャスティングは「奇跡のキャスティング」だった！?

50周年を迎えるスカイビル役を演じた古舘寛治さん。実は、生まれたのが50年前の春で、まさにスカイビルが開業したタイミングと全く一緒だったとのこと。しかも、スカイビルは20年ほど前の完全建て直しによって上部の回転レストランがなくなりましたが、古舘さんも20年ほど前に首を骨折して「首が回らなくなった」という点まで完全に一致。これはまさに「奇跡のキャスティング！呼んでいただきありがとうございます」と撮影終了後のインタビューで語っていただきました。

<メイキング・インタビュー動画とTVCMも同時公開！>

メイキング・インタビュー動画URL：<https://youtu.be/MtvM-HTIgew>

TVCM動画URL：<https://youtu.be/uaZXbOGgzW8>

■監督プロフィール



<沖田 修一(おきた しゅういち)>

愛知県生まれ。日本大学藝術学部映画学科撮影・録音コース卒業。

代表作に『南極料理人(2009/新藤兼人賞金賞/第1回日本シアタースタッフ映画祭監督賞/第29回藤本賞新人賞)』、『横道世之介(2013/第23回日本映画プロフェッショナル大賞監督賞)』、『滝を見にいく(2014)』『モヒカン故郷に帰る(2016)』Netflixドラマ『火花(2016)』、『モリのある場所(2018年)』

■出演者プロフィール



<古舘 寛治(ふるたち かんじ)> :50男(スカイビル)役

生年月日:1968年3月23日

出身地:大阪府

身長:174cm

特技:英会話・ダンス

NYで演劇を学び、帰国後は舞台をベースに数多くの映画やドラマに出演し、名パイプレイヤーとして印象を強く残す。近年の主な出演作に、映画『キツツキと雨(2012/沖田修一監督作品)』、『淵に立つ(2016)』等。奇跡的に、3月生まれで50歳というスカイビルとまったくの同い年。



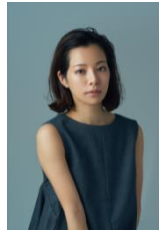
<中島 歩(なかじま あゆむ)> :25男(ランドマークプラザ)役

生年月日:1988年10月7日

出身地:宮城県

身長:183cm

明治時代の小説家・国木田独歩の玄孫にあたり、両親が付けた名前の「歩」は独歩に由来。沖田修一監督の最新作『モリのある場所(2018年5月公開)』にも出演。超高層ビルのような長身が決め手となり、今回のランドマークプラザ役に抜擢。



<桜井 ユキ(さくらい ゆき)> :25女(横浜ロイヤルパークホテル)役

生年月日:1987年2月10日

出身地:福岡県

身長:163cm

特技:サックス・ピアノ

2017年公開の映画「THE LIMIT OF SLEEPING BEAUTY」にて初主演。CX系にて放送中の木曜劇場『モンテ・クリスト伯—華麗なる復讐—』にレギュラー出演中。横浜ロイヤルパークホテルのような可憐さが特徴的。



<中村 研人(なかむら けんと)> :5少年(MARK IS みなとみらい)役

生年月日:2011年9月13日

身長:110cm

特技:ことわざ・ランニング

企業のCMに多数出演。今回のショートフィルムでMARK IS みなとみらい役を演じ、撮影現場での振る舞いに誰もがスター性を感じた期待の注目子役。

■スタッフリスト

監督・脚本	: 沖田 修一	プロデューサー	: 久代 真司
企画	: 徳永 希	制作	: 佐藤 真也
企画	: 高橋 慧至	撮影	: 熊倉 良徳
企画	: 森田 隼司	音楽	: 高田 漣
企画	: 小室 真純	PR	: 澤村 紘史

■ ショートフィルム『4つのお祝い』ストーリーボード



■ ショートフィルム『4つのお祝い』ストーリーボード

49		61		73		85	
50		62		74		86	
51		63		75		87	
52		64		76		88	
53		65		77		89	
54		66		78		90	
55		67		79		91	
56		68		80		92	
57		69		81			
58		70		82			
59		71		83			
60		72		84			